

「農商工連携」で

ともに勝てる経営基盤を



農商工連携等 人材育成講座のご案内

宮城県中小企業団体中央会
全国中小企業団体中央会(事業委託機関)

『農商工連携等人材育成講座』受講による

4つのメリット

1 連携の基盤づくり。農商工連携に携わるひとたちの相互理解を深め、効果的に連携する基礎をつくります。

農林水産業者は中小企業経営者を、中小企業経営者は農林水産業者を深く理解することで、立場の違う事業者同士での円滑で効果の高い連携を実現します。

2 異業種に学ぶ。他業界の人材との交流で、事業に対するより広い視野、より新しい視点を得られます。

農林水産業者・中小企業経営者ともに互いの視点を学び、業務に応用することで、一層の業務効率化や、第6次産業としての戦略的な取り組みが可能になります。

3 マーケットを知る。調査・分析を通じて消費者のニーズを把握し、売れる商品を開発する力を身につけます。

商品企画、調査機関を活用した市場調査から商品開発までの一連のプロセスを実体験することにより、商品開発のノウハウを身に付けることができます。

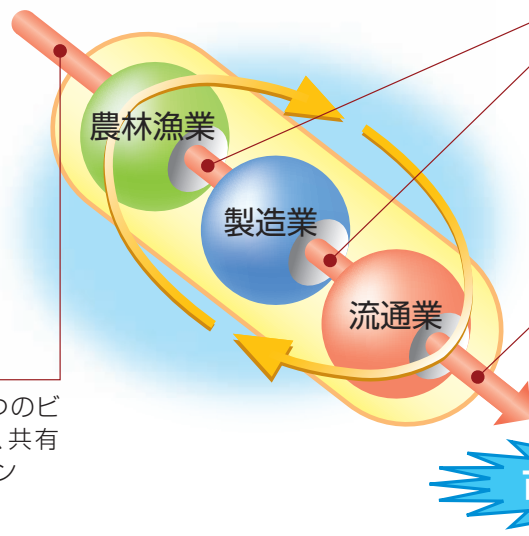
4 交流の機会を得る。連携の基本となるパートナーシップ、事業者間ネットワークを構築する第一歩になります。

参加者同士が交流を通じて事業に必要なパートナーを見つけ、強固な協力体制を樹立することで、スムーズな新規事業立ち上げや経営課題の解決を可能にします。

〈理想的なビジネスサイクルのイメージ図〉

◆経営戦略の共有

川上から川下までを一つのビジネスサイクルととらえ、共有できる経営戦略をデザイン



◆戦略的連携関係の構築

自らの経営の強みを活かし、弱みは他から補う協力関係を構築

◆新商品・新サービスの創出

市場、消費者ニーズの変化に対応し、PDCAサイクルにより常に新商品・新サービスを創出

【平成21年度農商工連携等人材育成事業の概要】

本事業は、農商工連携に積極的に取り組もうとする人材を発掘し、農林漁業、商工業の両方の経営実務に必要な知識を習得するための講義や農場等における実地研修を実施し、農商工連携に取り組む人的基盤を形成することができるよう、全国中小企業団体中央会が実施する事業です。

宮城県中小企業団体中央会では、全国中小企業団体中央会より委託を受け、宮城県内の方々を対象として、「農商工連携等人材育成講座」を実施します。

「農商工連携等人材育成講座」を実施するにあたり、農林水産物の生産や加工、消費者ニーズを踏まえた販路開拓までを一つのビジネスサイクルととらえ、戦略的に農商工連携を展開する核となる人材を育成・確保することを重要なポイントとしていることが、大きな特徴です。

研修の特徴

カリキュラムは講義研修・現地研修・グループ演習で構成しています。

講義研修・現地研修では主に、農林漁業者と中小企業者相互の状況理解による連携の基盤づくりを行い、グループ演習では商品企画、市場調査、試作品の作成といった一連の流れを実体験し、実際に新商品を開発するまでのノウハウを学ぶ内容となっています。

また、全国中小企業団体中央会によるインターネットを活用したe-ラーニング講義を受講することも可能となります。

- ・農商工連携事例紹介
- ・農林水産業・中小企業の動向と課題
- ・中小企業経営
(生産・販売管理・財務等)
- ・食品衛生・表示
- ・ブランド戦略(商標権等) 他

講義研修

現地研修

- ・宮城県内農商工連携事例等視察 等

グループ演習

- ・商品企画
- ・市場調査
- ・マーケティング戦略立案
- ・収支計画立案
- ・試作品開発
- ・テストマーケティング

応募要項

応募期間

平成21年9月15日～10月5日

対象者

農商工連携を行おうとする次の方々が対象です

- ① 農商工連携を支援する方
(中小企業・農業支援機関・行政機関の役職員等)
- ② 農林水産業団体・中小企業組合の役職員
- ③ 農林水産業者、中小企業者等

【応募方法】

別紙申込書に志望の理由等をご記入のうえ、FAXにてお申込みいただくか、インターネットにて下記のホームページよりお申込下さい。

事業案内掲載ホームページ = <http://www.chuokai-miyagi.or.jp>

申込み用ページ = <https://ver.primehs.net/%7Ewacgu000/sslmf/kensyu.htm>

応募条件

原則9割以上出席が可能な方のみとし、申込多数の場合は上記①～③の分野ごとに選考の上・受講票の交付を受けた方を受入れます。

定員=30名

修了証

修了者には、全国中小企業団体中央会より修了証を交付します。

受講料

無料

昼食代等別途費用が発生することがあります。

カリキュラム概要

講義

開催時間：10:00～17:40(最終日のみ14:00～17:30)

開催場所：宮城県商工振興センター2階会議室(下記地図参照)

開催月日	科目	講師
10月15日	研修の狙い(農商工連携の意義)	経営士 庄司和弘(宮城県中央会連携拠点応援コーディネーター)
	農商工連携の背景と今後	中小企業診断士 小島壮司(中小企業基盤整備機構プロジェクトマネージャー)
	農商工連携の先進事例の紹介	(株)プロジェクト地域活性 代表取締役 望月孝
	農商工連携の先駆者からのメッセージ	(株)一ノ蔵 代表取締役名誉会長 浅見紀夫(宮城県食料産業クラスター全体協議会会長)
11月12日	農商工連携の現状とJA	JA宮城中央会 営農農政部次長 安齋明修
	農林水産業の動向・流通構造	宮城県農林水産部 農業振興課技術副参事兼技術補佐 津場俊行
		// 水産業振興課技術補佐 小林徳光
	// 林業振興課みやぎ材流通推進班技術補佐 清川雄司	
11月27日	食品衛生と表示	宮城県環境生活部食と暮らしの安全推進課食の安全安心推進専門監 赤尾牧夫
12月10日	中小企業経営(生産販売管理・IT化・財務分析等)	中小企業診断士 鳥海卯(宮城県中央会連携拠点応援コーディネーター)
	地域活性化と農商工連携	NPO法人 鬼首山学校協議会 校長・副理事長 大沼幸男
12月17日	ブランド戦略(ブランド価値、育成、商標権等)	弁理士 須田篤
	環境対策(規制法等)	宮城県環境生活部 環境生活総務課 環境政策専門監 高橋俊光
	ファシリテーションスキルの基礎	中小企業診断士 波多野卓司
1月28日	農商工連携による商品開発と実践	(株)インテリジェンス・サービス 代表取締役 大岩由利
		経営士 庄司和弘(宮城県中央会連携拠点応援コーディネーター)
		中小企業診断士 渡辺進也(//)
		中小企業診断士 鳥海卯 (//)
2月 4日	新商品開発の実践	同上
2月25日	新商品開発の実践・修了式	//

現地実習・視察

集合時間：午後12時(予定) 終了時間：午後5時(予定)

移動方法：仙台駅西口バスプールに集合し、大型バスで移動します。

開催月日	科目	視察・実習場所
10月23日	農業・中小企業の現場視察	秋保大滝自然農園、はたけなか製麺(株)
11月26日	農商工連携の先進事例視察	(有)伊豆沼農産、(有)パレット
1月14日	農商工連携の先進事例視察	(株)一ノ蔵 他
2月18日	新商品開発の実践	未定

※状況により、カリキュラム内容が若干変更することがあります。

受講後のフォロー

講座を受講された方々には、即効性のある取り組みを行い、かつ参加者同士で連携することにより、更なる事業の発展をしていく事や、農商工連携を促進する人材として地域経済に貢献される事が期待されます。

本会としては、受講された事業者の方々がますます発展されるよう、様々な施策等を活用しながら、ワンストップで個別の事後支援も予定しています。

お問い合わせ先

宮城県中小企業団体中央会 農商工連携等人材育成事業事務局

〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉一丁目14番2号

TEL. 022-222-5560

FAX. 022-222-5557

URL <http://www.chuokai-miyagi.or.jp>



交通のご案内

- 市営地下鉄にて 北四番丁駅下車徒歩5分
- バスにて 二日町北四番丁下車徒歩5分